



## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6095 URL <https://medpeer.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 石見 陽  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 CFO (氏名) 平林 利夫 TEL 03-4405-4905  
定時株主総会開催予定日 2024年12月18日 配当支払開始予定日 2024年12月19日  
有価証券報告書提出予定日 2024年12月18日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期の連結業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	14,948	2.8	1,917	△0.7	1,291	15.3	1,264	8.6	1,481	139.9
2023年9月期	14,540	72.0	1,931	54.6	1,119	5.3	1,164	4.5	617	△24.0

(注) 包括利益 2024年9月期 1,503百万円 (135.7%) 2023年9月期 637百万円 (△21.3%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2024年9月期	円 銭 68.26	円 銭 —	% 16.7	% 8.2	% 8.6
2023年9月期	円 銭 28.33	円 銭 27.99	% 7.8	% 9.5	% 7.7

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 55百万円 2023年9月期 57百万円

(注) 2024年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年9月期	百万円 15,554	百万円 9,451	% 60.7	円 銭 434.74
2023年9月期	百万円 15,162	百万円 8,587	% 54.7	円 銭 382.10

(参考) 自己資本 2024年9月期 9,442百万円 2023年9月期 8,286百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2024年9月期	百万円 1,890	百万円 1,266	百万円 △1,269	百万円 7,280
2023年9月期	百万円 600	百万円 △5,011	百万円 3,666	百万円 5,393

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 4.50	百万円 97	% 15.9	% 1.2
2024年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 4.50	百万円 97	% 6.6	% 1.1
2025年9月期(予想)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.50	円 銭 4.50	百万円 97	% 19.5	% 1.1

### 3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	△17.0	1,248	△34.9	770	△40.4	820	△35.1	500	△66.3	23.02

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有  
新規 一社 (社名) 一、 除外 2社 株式会社やくばと、株式会社クラウドクリニック

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2024年9月期	21,986,410株	2023年9月期	21,953,590株
2024年9月期	266,383株	2023年9月期	265,498株
2024年9月期	21,709,151株	2023年9月期	21,804,317株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年9月期の個別業績（2023年10月1日～2024年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	4,260	△0.5	311	△30.5	290	△38.2	△34	—
2023年9月期	4,284	△8.5	448	△47.4	470	△46.4	217	△66.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期	△1.61	—
2023年9月期	9.98	9.86

(注) 2024年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	11,005	7,061	64.1	324.72
2023年9月期	11,654	7,170	61.4	330.22

(参考) 自己資本 2024年9月期 7,053百万円 2023年9月期 7,161百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等の注記) .....	14
(企業結合等関係) .....	18
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループが属する医療産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達することで高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えております。このように本格的な超高齢化社会に直面し医療を取り巻く環境が大きく変化している状況を踏まえ、日本政府は健康寿命の延伸や持続可能な社会保障制度の構築という問題に対して国を挙げて取り組むべく、健康・医療・介護分野それぞれのデータの利活用を推進し、質の高い医療・介護の効率的な提供、医療現場の業務効率化など医療DXの更なる推進を掲げております。

製薬企業においては、医薬品市場の主力がプライマリー領域からスペシャリティ・希少疾患領域にシフトするとともに、医療従事者の働き方や情報入手のニーズが多様化する中、新しいマーケティングの在り方が求められており、ウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワーク等、デジタルツールの活用がより一層強化されるとともに、リアルでのコミュニケーションとデジタルツールの活用を組み合わせ一人ひとりの医療従事者にとって最適な情報提供を行うことが求められております。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、医師向けコミュニティサービスを中心とした「集合知プラットフォーム事業」、医療機関・医療現場の業務効率化をサポートする「医療機関支援プラットフォーム事業」、主に企業の人事部門や健康保険組合をクライアントに持つ「予防医療プラットフォーム事業」を展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高14,948,380千円（前期比2.8%増）、EBITDAは1,917,312千円（同0.7%減）、営業利益1,291,459千円（同15.3%増）、経常利益1,264,298千円（同8.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,481,764千円（同139.9%増）となりました。

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ① 集合知プラットフォーム事業

集合知プラットフォーム事業では、国内医師の約半数が利用する「MedPeer」上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性化を向上する施策を展開してまいりました。また、多様化する製薬企業のニーズに対して、医師の本音に最も近いプラットフォームという当社固有の強みを活かしたソリューションを提供すべく、製薬企業向けプロモーション事業にフォーカスして投資を推進してまいりました。加えて、子会社のMIフォース株式会社においては、特に2024年4月以降、新型コロナウイルス感染症関連の売上は減退したものの、新規顧客の獲得や既存顧客の取引拡大を進めたことにより影響は限定的に留まりました。

これらの結果、売上高は12,262,301千円（同3.9%増）、EBITDAは3,106,889千円（同1.0%増）、セグメント利益は2,590,042千円（同7.8%増）となりました。

#### ② 医療機関支援プラットフォーム事業

医療機関支援プラットフォーム事業では、医療機関・薬局向け集患・業務支援サービス「やくばと」シリーズ及びかかりつけ薬局化支援サービス「kakari」の拡販と「やくばと」を中心とした戦略的投資を推進してまいりました。「やくばと」は、昨年度にリリースした「やくばと病院予約」が多くの医療機関に導入されており、サービス開始1年で初診予約数1万件を突破いたしました。また、「kakari」も薬局と患者双方の課題を解決し、継続的に使われるサービスとして順調にダウンロード数を伸ばし、2024年10月にダウンロード数100万件を突破しております。なお、2024年6月28日付で連結子会社である株式会社クラウドクリニックの売却を決定し、2024年7月1日付で譲渡を完了しております。

これらの結果、売上高は455,750千円（同9.2%減）、EBITDAは△158,305千円（前期は△45,639千円）、セグメント損失は181,901千円（前期はセグメント損失91,820千円）となりました。

#### ③ 予防医療プラットフォーム事業

予防医療プラットフォーム事業では、子会社の株式会社Mediplatが運営するクラウド型健康管理サービス「first call」、子会社の株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業それぞれの収益基盤の強化に注力してまいりましたが、事業の選択と集中による事業ポートフォリオの見直しの結果、2024年9月30日付で、両社の事業を、株式会社アドバンテッジリスクマネジメントが新たに設立した完全子会社2社に対して譲渡したことにより、予防医療プラットフォーム事業からは撤退しております。

これらの結果、売上高は2,232,658千円（前期比0.5%減）、EBITDAは306,752千円（同61.1%増）、セグメント利益は283,710千円（同65.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて392,575千円増加し、15,554,738千円となりました。これは現金及び預金1,886,842千円の増加を主要因とするものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて471,478千円減少し、6,103,388千円となりました。これは未払法人税等が495,102千円増加したものの、未払金が175,286千円減少し、長期借入金が561,685千円減少したことを主要因とするものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて864,053千円増加し、9,451,350千円となりました。これは非支配株主との取引に係る親会社の持分変動に伴う資本剰余金の減少256,166千円、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加1,481,764千円を主要因とするものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,886,842千円増加し、7,280,009千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により獲得した資金は、1,890,649千円となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益2,371,502千円の計上、減価償却費338,887千円の計上、のれん償却費286,964千円の計上、事業譲渡益1,342,978千円の計上によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により獲得した資金は、1,266,124千円となりました。この主な要因は、事業譲渡による収入1,501,462千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は、1,269,931千円となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出586,749千円及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出564,000千円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率	54.7%	60.7%
時価ベースの自己資本比率	145.8%	78.5%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	6.3年	1.7年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	44.2倍	124.0倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注3) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

当社グループは、「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」をミッションとして、集合知により医療を再発明することを目指しております。

次期につきましては、以下の方針に基づき事業を運営してまいります。

なお、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象) 報告セグメントの変更」に記載のとおり、2025年9月期より、報告セグメントを「医師プラットフォーム事業」、「マーケティング支援事業」、「医療機関支援プラットフォーム事業」の3つのセグメントに変更しており、次期方針については変更後の区分に基づいております。

##### ①医師プラットフォーム事業

COVID-19により製薬企業によるデジタルマーケティングの需要は急拡大した一方で、医薬品の製品構成がスペシャリティ領域へシフトする等、事業環境も大きく変化しています。また、事業環境の変化に伴い、製薬企業がマーケティングにおいて重視する指標が、医師会員数を基にした医師への情報のインプット量から、医師の本音をいかに拾うことができるかというアウトプットの質に変化しつつあります。かかる状況を踏まえ、医師会員プラットフォームとしてのMedPeer固有の強みに改めて立脚し、新たなサービス開発を行うとともに、プラットフォーム強化のための投資を積極的に行い、中長期的な収益拡大を図ってまいります。

##### ②マーケティング支援事業

MIフォース株式会社が提供するCSO事業では、従来、収益の主要因となっていたCOVID-19プロジェクトが終了し、新たな収益源の確立が課題となっております。このような状況を踏まえ、新興バイオフーマや医療機器メーカー、医療機関などを中心に新規クライアントの獲得を進めるとともに、グループシナジーを活かしてコントラクトMR人材を活用した製薬企業との新たな取り組みを推進してまいります。

##### ③医療機関支援プラットフォーム事業

医療機関支援プラットフォームでは、2025年9月期を事業構築期と位置付けており、医療機関・薬局向け集患・業務支援サービス「やくばと」を中心に、利用者基盤の拡大を推進し、プラットフォームの構築に注力してまいります。なお、投資先行によりセグメント損失を計上する見込みであります

これらのことにより、次期の業績見通しにつきましては、売上高12,400百万円（前期比△17.0%）、EBITDA1,248百万円（同△34.9%）、営業利益770百万円（同△40.4%）、経常利益820百万円（同△35.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円（同△66.3%）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,393,167	7,280,009
売掛金	3,367,420	2,597,351
契約資産	62,370	50,704
仕掛品	20,377	19,751
その他	340,257	417,640
貸倒引当金	—	△6,729
流動資産合計	9,183,595	10,358,728
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	103,430	290,123
工具、器具及び備品（純額）	91,290	91,554
その他	2,914	1,165
有形固定資産合計	197,634	382,843
無形固定資産		
のれん	2,398,610	1,830,126
ソフトウェア	210,436	104,217
ソフトウェア仮勘定	16,854	—
顧客関連資産	2,188,782	2,013,922
無形固定資産合計	4,814,683	3,948,266
投資その他の資産		
関係会社株式	189,523	244,687
投資有価証券	132,498	128,122
敷金	361,121	241,834
繰延税金資産	246,425	230,615
その他	36,680	19,640
投資その他の資産合計	966,250	864,900
固定資産合計	5,978,568	5,196,010
資産合計	15,162,163	15,554,738



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当連結会計年度 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	60,226	75,301
未払金	515,661	340,374
短期借入金	50,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	572,526	524,976
未払消費税等	324,769	205,497
未払法人税等	261,216	756,318
賞与引当金	129,209	171,042
役員賞与引当金	10,650	4,762
ポイント引当金	187,425	147,888
契約負債	79,814	42,621
その他	263,571	284,895
流動負債合計	2,455,070	2,563,680
固定負債		
長期借入金	3,186,757	2,625,072
資産除去債務	87,801	122,730
繰延税金負債	784,387	727,374
退職給付に係る負債	59,485	64,531
その他	1,365	—
固定負債合計	4,119,796	3,539,708
負債合計	6,574,867	6,103,388
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,244,624	2,256,559
資本剰余金	2,500,036	2,255,805
利益剰余金	3,854,651	5,238,820
自己株式	△300,745	△300,783
株主資本合計	8,298,567	9,450,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,736	△10,951
退職給付に係る調整累計額	1,136	3,122
その他の包括利益累計額合計	△11,599	△7,828
新株予約権	8,778	8,778
非支配株主持分	291,549	—
純資産合計	8,587,296	9,451,350
負債純資産合計	15,162,163	15,554,738

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	14,540,835	14,948,380
売上原価	7,674,181	8,076,634
売上総利益	6,866,654	6,871,746
販売費及び一般管理費	5,746,657	5,580,286
営業利益	1,119,997	1,291,459
営業外収益		
受取利息	189	569
持分法による投資利益	57,562	55,163
補助金収入	1,815	—
その他	4,025	9,648
営業外収益合計	63,592	65,381
営業外費用		
支払利息	13,328	14,395
自己株式取得費用	1,020	—
支払補償費	—	21,384
固定資産除却損	—	11,056
構造改革費用	—	35,027
その他	4,988	10,679
営業外費用合計	19,337	92,542
経常利益	1,164,252	1,264,298
特別利益		
事業譲渡益	—	1,342,978
その他	—	45,745
特別利益合計	—	1,388,723
特別損失		
投資有価証券評価損	117,645	—
減損損失	—	281,519
特別損失合計	117,645	281,519
税金等調整前当期純利益	1,046,606	2,371,502
法人税、住民税及び事業税	511,238	915,112
法人税等調整額	△103,011	△43,196
法人税等合計	408,226	871,916
当期純利益	638,379	1,499,586
非支配株主に帰属する当期純利益	20,700	17,821
親会社株主に帰属する当期純利益	617,678	1,481,764

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純利益	638,379	1,499,586
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,689	1,785
退職給付に係る調整額	1,136	1,985
その他の包括利益合計	△552	3,770
包括利益	637,826	1,503,356
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	617,126	1,485,535
非支配株主に係る包括利益	20,700	17,821

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,051,041	2,306,453	3,236,973	△644	7,593,823
当期変動額					
新株の発行	177,625	177,625			355,250
新株の発行(新株予約権の行使)	15,957	15,957			31,915
親会社株主に帰属する当期純利益			617,678		617,678
自己株式の取得				△300,100	△300,100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	193,582	193,582	617,678	△300,100	704,744
当期末残高	2,244,624	2,500,036	3,854,651	△300,745	8,298,567

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△11,046		△11,046	9,578	270,848	7,863,203
当期変動額						
新株の発行						355,250
新株の発行(新株予約権の行使)						31,915
親会社株主に帰属する当期純利益						617,678
自己株式の取得						△300,100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,689	1,136	△552	△800	20,700	19,348
当期変動額合計	△1,689	1,136	△552	△800	20,700	724,092
当期末残高	△12,736	1,136	△11,599	8,778	291,549	8,587,296

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,244,624	2,500,036	3,854,651	△300,745	8,298,567
当期変動額					
新株の発行	11,934	11,934			23,869
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△256,166			△256,166
剰余金の配当			△97,596		△97,596
親会社株主に帰属する当期純利益			1,481,764		1,481,764
自己株式の取得				△38	△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	11,934	△244,231	1,384,168	△38	1,151,833
当期末残高	2,256,559	2,255,805	5,238,820	△300,783	9,450,400

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△12,736	1,136	△11,599	8,778	291,549	8,587,296
当期変動額						
新株の発行						23,869
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△256,166
剰余金の配当						△97,596
親会社株主に帰属する当期純利益						1,481,764
自己株式の取得						△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,785	1,985	3,770	—	△291,549	△287,779
当期変動額合計	1,785	1,985	3,770	—	△291,549	864,053
当期末残高	△10,951	3,122	△7,828	8,778	—	9,451,350

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,046,606	2,371,502
減価償却費	501,962	338,887
のれん償却額	309,486	286,964
受取利息及び受取配当金	△1,400	△1,823
支払利息	13,328	14,395
持分法による投資損益(△は益)	△57,562	△55,163
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	117,645	—
事業譲渡損益(△は益)	—	△1,342,978
固定資産除却損	—	11,056
減損損失	—	281,519
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△856,428	455,850
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,090	626
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,162	15,223
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,694	73,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△766	6,729
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,470	△5,887
未払金の増減額(△は減少)	118,291	△88,658
未払消費税等の増減額(△は減少)	△31,848	△103,677
ポイント引当金の増減額(△は減少)	14,670	△39,536
その他	△15,233	174,076
小計	1,108,516	2,392,451
利息及び配当金の受取額	1,400	1,823
利息の支払額	△13,564	△15,248
法人税等の支払額	△496,278	△488,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	600,073	1,890,649
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△39,459	△213,987
無形固定資産の取得による支出	△66,511	△44,097
投資有価証券の取得による支出	△121,024	△1,061
敷金の差入による支出	△105,088	△143
敷金の回収による収入	79	21,380
貸付金の回収による収入	2,065	1,800
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△30,064
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,648,102	—
事業譲渡による収入	—	1,501,462
事業譲受による支出	△37,000	—
その他	3,062	30,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,011,980	1,266,124

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	50,000	10,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
長期借入れによる収入	4,200,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△569,840	△586,749
株式の発行による収入	338,015	—
配当金の支払額	—	△97,351
自己株式の取得による支出	△300,100	△38
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△564,000
その他	△1,758	△1,792
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,666,316</b>	<b>△1,269,931</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△745,590	1,886,842
現金及び現金同等物の期首残高	6,138,758	5,393,167
現金及び現金同等物の期末残高	5,393,167	7,280,009

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び当社の連結子会社が各々独立した経営単位として、取り扱うサービスについて主体的に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、当社及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「集合知プラットフォーム事業」、「医療機関支援プラットフォーム事業」、「予防医療プラットフォーム事業」の三つを報告セグメントとしております。

なお、2024年9月30日付で、当社の連結子会社である株式会社Mediplatの全事業及び株式会社フィッツプラスの全事業を、株式会社アドバンテッジリスクマネジメントが新たに設立した完全子会社2社に対して、それぞれ吸収分割の方法により譲渡したため、「予防医療プラットフォーム事業」から撤退しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「集合知プラットフォーム事業」は、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」の17万人以上の医師会員を基盤として製薬企業・医療機器メーカー向けマーケティング・営業支援サービスを展開しております。

「医療機関支援プラットフォーム事業」は、医療機関や医療現場の業務効率化支援を展開しております。

「予防医療プラットフォーム事業」は、コンシューマー向けヘルスケアサービスを展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、2024年9月30日で終了した連結会計年度にかかる連結財務諸表作成において採用している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益および振替高は、市場実勢価格に基づいております。



3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	集合知プラットフォーム事業	医療機関支援プラットフォーム事業	予防医療プラットフォーム事業	計		
売上高						
一時点で移転される財またはサービス	2,406,785	187,062	1,090,800	3,684,648	-	3,684,648
一定の期間にわたり移転される財またはサービス	9,391,185	312,204	1,152,797	10,856,167	-	10,856,187
顧客との契約から生じる収益	11,797,970	499,266	2,243,598	14,540,835	-	14,540,835
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	11,797,970	499,266	2,243,598	14,540,835	-	14,540,835
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,145	2,619	653	7,417	△7,417	-
計	11,802,115	501,886	2,244,252	14,548,253	△7,417	14,540,835
セグメント利益又は損失(△)	2,403,148	△91,820	171,666	2,482,994	△1,362,997	1,119,997
セグメント資産	7,794,691	392,286	452,491	8,639,469	6,522,694	15,162,163
その他の項目						
減価償却費	409,834	1,138	18,786	429,759	72,203	501,962
のれん償却額	264,443	45,043	-	309,486	-	309,486
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	60,346	-	16,854	77,200	31,935	109,135
のれんの未償却残高	2,094,569	304,040	-	2,398,610	-	2,398,610

注1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去20,880千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,383,877千円が組みこまれております。
- (2) セグメント資産の調整額6,522,694千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額31,935千円は、主に本社における設備等への投資額であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には新規連結に伴う増加額を含んでおりません。

注2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	集合知プラットフォーム事業	医療機関支援プラットフォーム事業	予防医療プラットフォーム事業	計		
売上高						
一時点で移転される財またはサービス	2,440,113	183,403	1,019,183	3,642,700	—	3,642,700
一定の期間にわたり移転される財またはサービス	9,820,777	272,346	1,212,556	11,305,680	—	11,305,680
顧客との契約から生じる収益	12,260,891	455,750	2,231,739	14,948,380	—	14,948,380
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,260,891	455,750	2,231,739	14,948,380	—	14,948,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,410	—	918	2,328	△2,328	—
計	12,262,301	455,750	2,232,658	14,950,709	△2,328	14,948,380
セグメント利益又は損失(△)	2,590,042	△181,901	283,710	2,691,852	△1,400,392	1,291,459
セグメント資産	6,866,616	35,697	43,307	6,945,620	8,609,118	15,554,738
その他の項目						
減価償却費	252,402	1,074	23,041	276,519	62,368	338,887
のれん償却額	264,443	22,521	—	286,964	—	286,964
減損損失	—	281,519	—	281,519	—	281,519
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	75,589	—	35,744	111,334	144,258	255,593
のれんの未償却残高	1,830,126	—	—	1,830,126	—	1,830,126

注1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去19,508千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,419,900千円が組みこまれております。
- (2) セグメント資産の調整額8,609,118千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額144,258千円は、主に本社における設備等への投資額であります。

注2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年10月1日 至 2023年9月30日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ファイザー株式会社	1,797,628	集合知プラットフォーム事業

当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ファイザー株式会社	1,953,634	集合知プラットフォーム事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(吸収分割による事業承継)

当社は、2024年8月2日開催の取締役会において、2024年9月30日付で、当社の連結子会社である株式会社Mediplat（以下「Mediplat」という。）の全事業及び株式会社フィッツプラス（以下「フィッツプラス」という。）の全事業（以下総称して「本事業」という。）を、株式会社アドバンテッジリスクマネジメント（以下「ARM」という。）が新たに設立した完全子会社2社に対して、それぞれ吸収分割の方法により承継させることを決議し、事業承継を完了しました。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

- ①株式会社アドバンテッジメディカル（2024年8月22日付で株式会社Mediplatに商号変更）
- ②株式会社アドバンテッジヘルスケア（2024年8月22日付で株式会社フィッツプラスに商号変更）

(2) 分離した事業の内容

- ①Mediplatが営むクラウド型健康管理サービス事業の全部
- ②フィッツプラスが営む特定保健指導事業等の全部

(3) 事業分離を行った主な理由

ARMは、メンタリティマネジメント事業等を通じて健康経営に係る強固な顧客基盤を持っており、本事業の領域との親和性も高く、さらなる成長が見込める譲渡先であると判断したためです。

(4) 事業分離日

2024年9月30日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする吸収分割による事業承継

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

事業譲渡益 1,342,978千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	1,111,109	千円
固定資産	85,130	
資産合計	<u>1,196,240</u>	
流動負債	189,218	
負債合計	<u>189,218</u>	

(3) 会計処理

移転した事業に関する投資は清算されたものとみて、移転したことにより受け取った対価となる財産の時価と、移転した事業に係る株主資本相当額との差額を移転損益として認識しております。

3. 分離した事業が含まれている報告セグメントの名称

予防医療プラットフォーム事業

4. 当連結会計年度の連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	1,880,961千円
営業利益	208,846千円

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	382.10円	434.74円
1株当たり当期純利益	28.33円	68.26円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	27.99円	－円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	617,678	1,481,764
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	617,678	1,481,764
普通株式の期中平均株式数(株)	21,804,317	21,709,151
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	265,961	－
(うち新株予約権)(株)	265,961	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	－	第9回新株予約権(新株予約権の目的となる株式の数223,200株) 第12回新株予約権(新株予約権の目的となる株式の数74,800株) 第16回新株予約権(新株予約権の目的となる株式の数1,270,800株)

(重要な後発事象)

報告セグメントの変更

当社は、2024年11月13日の取締役会において、2025年9月期より、当社グループの報告セグメントを、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を活用した製薬企業・医療機器メーカー向けデジタルマーケティング支援サービスを提供する「医師プラットフォーム事業」、製薬企業向けのコントラクトMR/MSLサービスや製薬企業・医療機器メーカー向けのコンテンツ制作サービスを提供する「マーケティング支援事業」、医療機関や医療現場の業務効率化を支援する「医療機関支援プラットフォーム事業」の3つのセグメントに変更することといたしました。

なお、変更後の報告セグメントの区分によった場合の当連結会計年度の報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報は現在算定中であります。